

金沢向陽高校での特別授業



令和6年6月26日(水)に金沢向陽高校の全校生徒を対象に、「知ろう・繋がろう～向陽&いしかわ～ 知的障害教育部門高等部のことを知ろう」と題した障害理解についての特別授業が行われました。

今回の授業では、知的障害のある方の特性

- ① 言語の理解が難しい
- ② 抽象的な概念の理解に時間がかかる
- ③ 急な出来事への対応が苦手
- ④ 判断することが苦手
- ⑤ ものごとを理解するのに時間がかかる

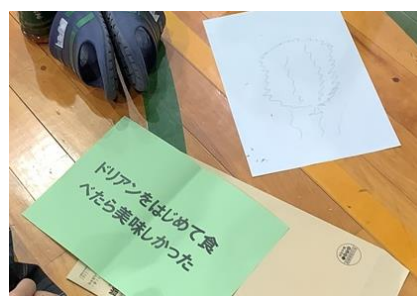


から、①「言語の理解が難しい」について、考えるために、提示された課題文を、「文字や言葉を使用しないで相手に伝えよう」という演習を行いました。

生徒たちは、グループごとに、文章の意味をどうやって伝えようか思案し、イラストやジェスチャーを工夫する方法について、熱心に話し合っていました。



自分たちが考えたジェスチャーやイラストで相手のグループに意味が伝わると思わず拍手が起こっていました。



この演習から、うまくコミュニケーションが取れたときに嬉しく感じることも、また知的障害のある方が、コミュニケーションをとることに大変さを感じていることについても知ることができたようです。

来年度、金沢向陽高校の敷地に本校の知的障害教育部門高等部が移転します。今後も金沢向陽高校といしかわ特別支援学校が交流活動を重ねていきます。